

厚生労働省の新型コロナウイルス感染症に対するマスク着用の基準は以下の通りです。学校生活で該当する項目は①課外活動で医療機関や高齢者施設訪問時 ②呼吸器系の基礎疾患がある児童生徒 です。

これまで屋外では原則不要、屋内では原則着用としていましたが  
**令和5年3月13日から**  
**マスク着用は個人の判断が基本となります**

ただし、以下のような場合には注意しましょう

周囲の方に、感染を広げないために  
**マスクを着用しましょう**

ご自身を感染から守るために  
**マスク着用が効果的です**

受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時  
通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時

高齢者  
基礎疾患を有する方  
妊婦

慢性肝臓病  
がん  
心血管疾患 など

重症化リスクの高い方が感染拡大時に混雑した場所に行く時

本人の意思に反してマスクの着脱を強いることがないよう、  
個人の主体的な判断が尊重されるよう、ご配慮をお願いします

※事業者の判断でマスク着用を求められる場合や従業員がマスクを着用している場合があります

ちなみに、空気・飛沫感染により学校生活で流行拡大の高いとされている感染症は、インフルエンザをはじめ15種類あります。種類により異なりますが、有効とされている基本的な予防は以下6つです。

- ① 流行前のワクチン接種（ワクチンがある場合）
- ② 外出後の手洗い
- ③ 温度等の環境整備
- ④ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ⑤ 流行時の人混みへの外出を控える
- ⑥ 換気



確実な唯一の方法があるのではなく、日々の生活・環境を整えることが大事ですね。



ちなみに、厚生労働省が出したマスク着用の基準の留意事項に「子どもについては、健やかな発達・発育の妨げとならないように配慮することが重要です」と述べられています。

そこで、学校生活において、マスクの着用が、子ども達の発育と発達に与えるメリットとデメリットについて考えてみました。

参考：厚生労働省ウェブサイト、<https://www.mhlw.go.jp/>、新国語辞典、林四郎、三省堂、2021

わかり合うための言語コミュニケーション、文化庁、<https://www.bunka.go.jp/>

FIB 捜査官が教える「しぐさ」の実践読解辞典407、ジョー・ナヴァロ、河出書房新社、2021

## 1. 発育: 育って、だんだん大きくなること

### デメリット

- ・熱がこもり息苦しさを感しやすい
- ・顔色や呼吸の状態が確認できない
- ・マスク皮膚炎の危険

### メリット

- ・感染流行時の人混みで飛沫感染対策ができる
- ・寒い時期に温かい
- ・空気が乾燥時に肌を外気から守れる

## 2. 発達: 体や心が成長すること

### デメリット

- ・相手の表情を見る機会が減少
- ・自分の表情をつくる機会の減少
- ・臭いが感じにくい

### メリット

- ・状況に適した感染対策を実施できる

マスクは必要である場所に一時的な使用としての利益はあるものの、常用することで教育現場におけるデメリットもあるのでは。。



### 【考えられる教育現場でのデメリット】

**発達** 活動中の安全確保への影響です。教員は子ども達の様子を言動・表情等から観察しています。集団での活動中は個別の声かけが難しい場合もあるため、表情・顔色が確認できないことでの安全と安心の確保に困難が生じる可能性があります。

**発育** コミュニケーションへの影響です。言語・非言語コミュニケーションどちらにおいても、日々の経験が能力の発達に欠かせないものです。意識していない時でさえも、私達は身体の動き・表情・声の強弱やリズムを用い情報を発し周囲の人と交流をしています。「目は口ほどにものを言う」という言葉がありますが、マスクで表出されない鼻・頬・口・顎も表情を構成しています。相手の表情から気持ちを推測する力や、友人と喜怒哀楽を伴う経験の共有で豊かな表情を育む機会に影響が出ると考えられます。

### 表情が作り出す非言語コミュニケーション 例

表情をつくる表情筋は 25 種類以上  
筋肉は使用することで  
筋肉量・活動量が維持されます!



#### 口

短く息を吐く→ストレス、欲求不満  
歯をむく→おびえ、恐怖、背徳感  
舌を嘔む→ストレス  
口を横方向に伸ばす→恐怖、間違いに気づいた時  
舌先で頬の内側を押す→ストレス、隠し事がある

#### 頬

指先で頬の上でバラバラと動かす→退屈  
頬を膨らます→疑念、熟考、警戒  
頬を掻く→遠慮、躊躇、当惑  
頬を揉む→ストレスの緩和、思いを巡らせている

#### 鼻

鼻の上方に皺をよせる→嫌悪  
鼻を触る→沈痛な思い、不安  
鼻を軽く払う→不審、疑問  
鼻を高く上げる→自信、優越感  
鼻の穴を膨らませる→準備、動揺

#### 顎

顎骨に力が入る→動揺、恐怖  
顎の力が抜ける→驚愕、ショック、困惑  
顎を突き出す→怒り  
顎を下げる→自信がない、脅威

